



亀っ子だより

第20号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2020年4月8日

令和元年度 亀崎小学校卒業式式辞

毎日、皆さんの登下校を見守ってくれた亀崎小学校の桜の木の冬芽が大きく膨らんできています。春の訪れを告げるとともに、皆さんの門出を祝うかのようでうれしく思っています。

112名の6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響で、みなさんの大切な友達との時間、クラスの仲間との時間、担任の先生との時間が奪われる形になってしまったこと、とても申し訳なく思っています。しかし、このような状況の中、愛校作業を一生懸命に行ってくれたとの報告をたくさんの先生から受けました。非常事態であるときでも、自分のなすべきことは何かを考え、きちんと実行できるみなさんのことを、心底、素晴らしい人たちだと思いました。

さて、みなさんと出会って一年、今私が思うことは、みなさんは心優しいお兄さん、お姉さんであったということです。ペアでスマイルの時には、いつも一年生の子たちに心を配り、優しく接したり場を盛り上げたりしてくれました。また、通学班の年下の子たちを気遣いながら登校する姿、低学年の教室で一緒に遊んでいる姿、怪我をして泣いている子を優しく保健室まで連れてきてくれる姿など、この一年間みなさんの優しい姿にたくさん出会いました。

私は、優しさは強さだと思っています。なぜなら、人の心というものは、恐怖や暴力では変えることはできません。唯一人の心を動かすことができるのは、優しさだけと信じているからです。心根の優しいみなさんは、強い人でもあるのです。みなさんの優しさを誇りに思い、いつまでも優しい人であり続けてほしいと願っています。

もう一つ私が思うことは、みなさんは素直であったということです。みなさんが中心となって盛り上げてくれた運動会、楽しい中にも規律と礼儀正しさを感じた修学旅行、聞く人に感動を与えたみなさんの歌声、それらはみなさんの素直さの賜物だと私は思っています。竹之内先生、山口先生、市森先生、そして聖名子先生の言葉を素直に受けとめ、6年生みんなが心を揃え、一生懸命に取り組んできたからこそ成し得たことだと思っているからです。

今の自分を超越するためには、素直さは欠かすことはできません。みなさんの素直さは、これからもみなさん自身を伸ばし、周りの人を幸せにしていくことでしょう。決して失ってほしくないと思っています。

しかし、みなさんがこれから歩む道には、乗り越えなければならない壁がいくつも待ち構えています。優しさと素直さだけでは乗り越えることはできません。その時に必要なのは、「行動する力」です。ある会社の社長さんが「行動は気持より優先する」とおっしゃっていました。好き嫌い、できるできないに関わらず、まずはやってみる。やる気は後からついてくるという意味です。やらなければならない目の前のことにまずは取り組む。一生懸命になる。すると成果が上がる。成果が上がれば、それがモチベーションとなり、さらに前進する。それを繰り返していれば、モチベーションが下がることはないとおっしゃっていました。私は、なるほどと思いました。

自分の目の前の壁を越えられるかどうかは、やってみなければ分かりません。まずは行動すること、一生懸命になることです。行動すること、一生懸命になることで開ける道が必ずあります。みなさんには大きな夢を持ち、自分の人生をたくましく歩んでほしいと願っています。

遅くなりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、心からお慶び申し上げます。また、今日まで私たちの教育活動をお支えいただきましたこと、深く感謝いたします。そして、この度の新型コロナウイルスの影響で、子どもたちに残念な思いをさせたこと、今もなおご家庭にご負担をおかけしていること、大変申し訳なく思っています。

当たり前のように来ると信じていた明日が変わってしまうこともあることを経験したこの子たちが、今を大切にすること、今となりにいる友達を、家族を、先生を大切にすることを今まで以上に強く心に思い、これから始まる中学校での生活を充実したものにしていってくれることを応援し続けていきます。

さあ、卒業生のみなさん、いよいよ旅立ちです。みなさんの中にある優しさと素直さを決して忘れず、行動すること、一生懸命になることを恐れず、自らの人生を素晴らしいものにしていってください。

これからみなさんが歩む道に幸多かれと心から願い、式辞といたします。

令和2年3月19日

令和二年度 亀崎小学校入学式式辞

83名の新一年生のみなさん、入学おめでとうございます。

みなさんは今日から、亀崎小学校の一年生です。みなさんの入学を、先生方も、お兄さん、お姉さんたちも、楽しみにしていました。これから、亀崎小学校で一生懸命に勉強したり、いっぱい遊んだりしてください。

さっそくですが、一年生の皆さんに宿題を出します。「だっこ」が宿題です。毎日、二回、お家の人に「だっこ」をしてもらいましょう。朝、家を出る時に、お父さん、お母さんにぎゅーっとだっこをしてもらい、それから学校に来るのが宿題です。お家に帰ったら、お父さん、お母さんにぎゅーっとだっこをしてもらうのが宿題です。もし、お父さん、お母さんがみなさんより早く家を出るのであれば、抱っこしてもらってから「行ってらっしゃい」とお見送りをしましょう。もし、お父さん、お母さんがみなさんより遅く家に帰ってくるのであれば、お父さん・お母さんが家に帰ってきたときにぎゅーっと抱っこをしてもらって「お帰りなさい」とお出迎えをしましょう。一日二回の抱っこを一年間続けることが宿題です。もちろん、おじいちゃんやおばあちゃんが「だっこ」の宿題に加わってくださることも大歓迎です。お家の人たちみんなと力を合わせてだっこの宿題を頑張ってください。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。ただいまより六年間、大切なお子様を、責任を持ってお預かりいたします。わからないこと、不安なことがありましたらすぐに担任に連絡してください。ご家庭と学校とが力を合わせて子どもたちのために教育活動を進めていきたいと考えております。新型コロナウイルスの影響で少し人数の少ない入学式になってしまいましたが、こんな時だからこそ、職員が一丸となって教育活動に取り組んでいかなければならないと考えています。そして、保護者の皆様にも、子どもの健康についてご協力をいただかなければならないことがあります。詳しくは、教室で担任より説明しますので、ご協力をお願いいたします。

また、「だっこ」の宿題ですが頑張ってください。お家の人「だっこ」が子どものエネルギーになります。子どもが健やかに毎日を過ごすために「だっこ」の宿題をお願いします。

さあ、一年生の皆さん、今日から亀崎小学校のスタートです。勉強に運動に力一杯がんばりましょう。

これでお祝いの言葉を終わります。

令和2年4月6日

半田山車祭り保存会から、図書購入費をご寄付していただきました

少し前のことですが、昨年12月に半田市山車祭り保存会から図書購入費をご寄付していただきました。そのお金で以下の図書を購入し、子どもたちが閲覧できるように図書室に置かせていただきましたのでご紹介させていただきます。半田山車祭り保存会の皆様、ありがとうございました。

- ・日本伝統文化仕事図鑑 全2巻
- ・日本全国祭り図鑑 東日本編

金の星社
フレーベル館